

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第17号
(令和5年11月)
文責 西澤 庄藏



「私のふるさと」をテーマにイングリッシュスピーチコンテストが開催されました。

10/28(土)市内の生月町開発総合センターにて市のイングリッシュスピーチコンテストが開催され、本校生徒【松森さん(3-1)、南さん(3-1)】も出場しました。市内中学生の英語力向上を図る目的で実施され、市内全中学校から14名が一堂に会した大会となりました。県大会に準じて「私のふるさと」をテーマに、自分の考えや思いを英語で発表しました。

静寂の中に張り詰めた緊張感があり、その中で発表が進んでいきました。私自身、日本語で発表するのも大舞台では緊張することを考えると、しかも英語での発表であり、発表者は察するに余りある緊張具合だと思いました。その中で、2名は、文化祭でのプレ発表から格段に完成度を増したものでした。これ以上の努力ができないぐらいの仕上がりで「やり切る力」を目の当たりにし、感涙しました。

誰でも経験できる舞台ではなく、緊張で心が押しつぶされそうになるぐらいの大舞台を踏む経験が、何より今後の「心の糧」になるものだと感じました。文化祭でのプレ発表、今回の本番、そして、何よりこれまで真摯に努力を重ねたことに、心の底から労いの言葉を贈りたいと思いました。



ALTの先生たちのサポートもあり、成立した大会でした。
(幕間の英語劇「桃太郎」より)

インクルーシブ教育の充実に、佐世保特別支援学校との交流事業がありました。

近年、共生社会の実現が叫ばれる中、特別支援学校との交流も積極的に行われています。特に、本校は、佐世保特別支援学校北松分校小学部・中学部と同居する関係にあり、その強みを生かした教育に注力している昨今です。

10/27(金)佐世保特別支援学校本校との交流事業の一つとして居住地校訪問事業が実施されました。1年生を対象に、部活動紹介をきっかけとして互いにふれあったり、障がいの有無に関わらず一緒に競い合える「ポッチャ」というスポーツに親しんだり、交流を通じて楽しいひとときを共有しました。

同じ1年生では(特別支援学校との交流事業ではありませんが)社会福祉協議会(田平)のご指導でブラインドウォーク体験や車椅子体験も行いました。

今後も、このような活動を通じて、障がいのある人やそのサポートを行う人の気持ちを共感的に理解し、望ましい行動について考えていけるよう「心のバリアフリー化」を目指していきたいと思えます。



(部活動紹介から)

保護者の皆様へ(お知らせ) 学校給食での「平戸和牛」提供について

11/13(月)学校給食に「平戸和牛」が提供されます。限られた予算では実現できないところですが…、今回は、平戸商工会議所様から、CNカードのポイント還元(地域活性につながる活動への寄付)もあり、実現したとのこと。ちなみに、田平地区では「すき焼き煮」というメニューで提供されます。